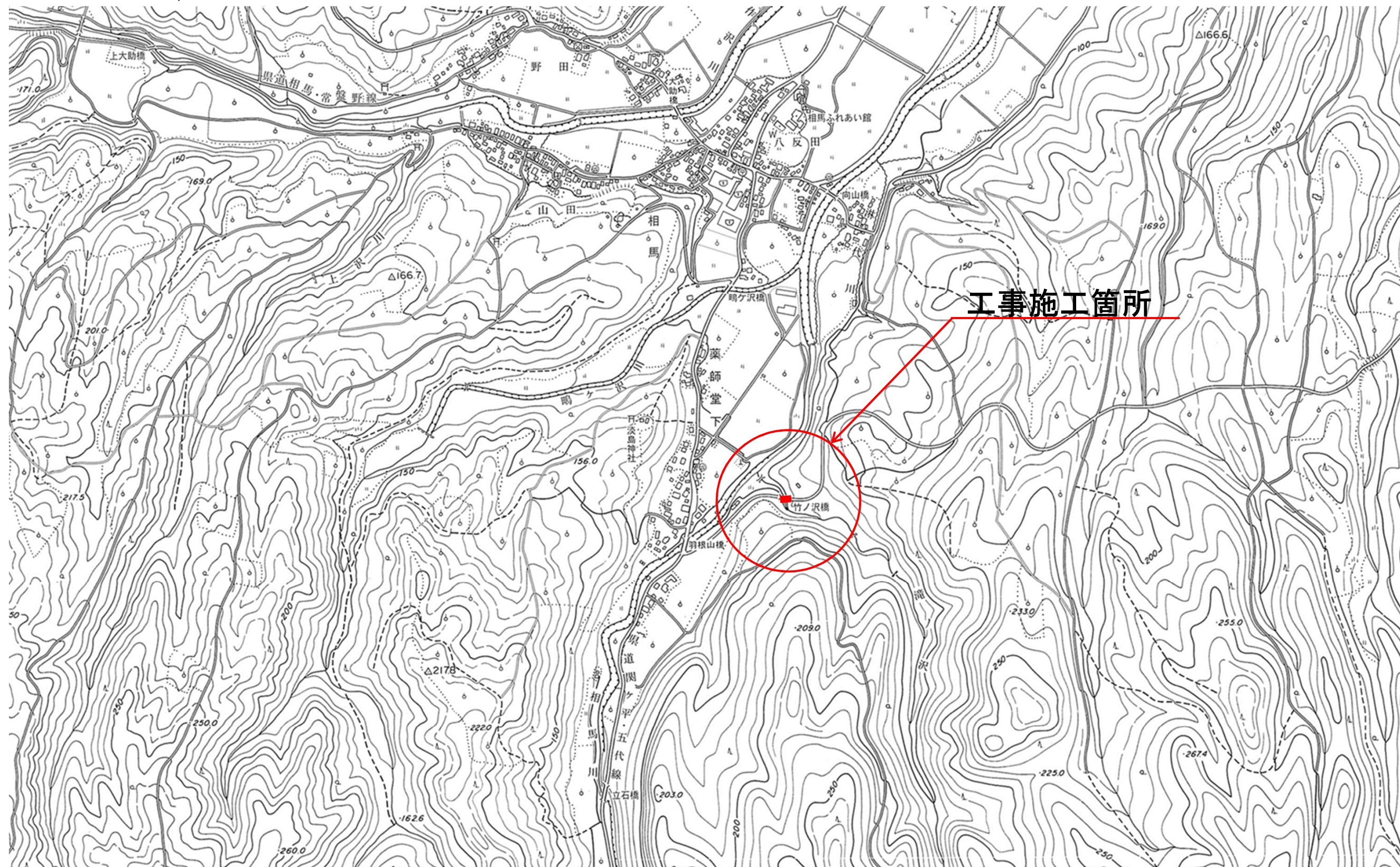
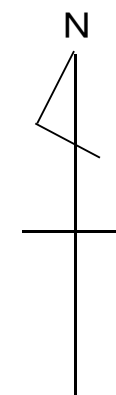


位置図

S=1:10,000

弘前市



年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	補修計画一般図
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 1

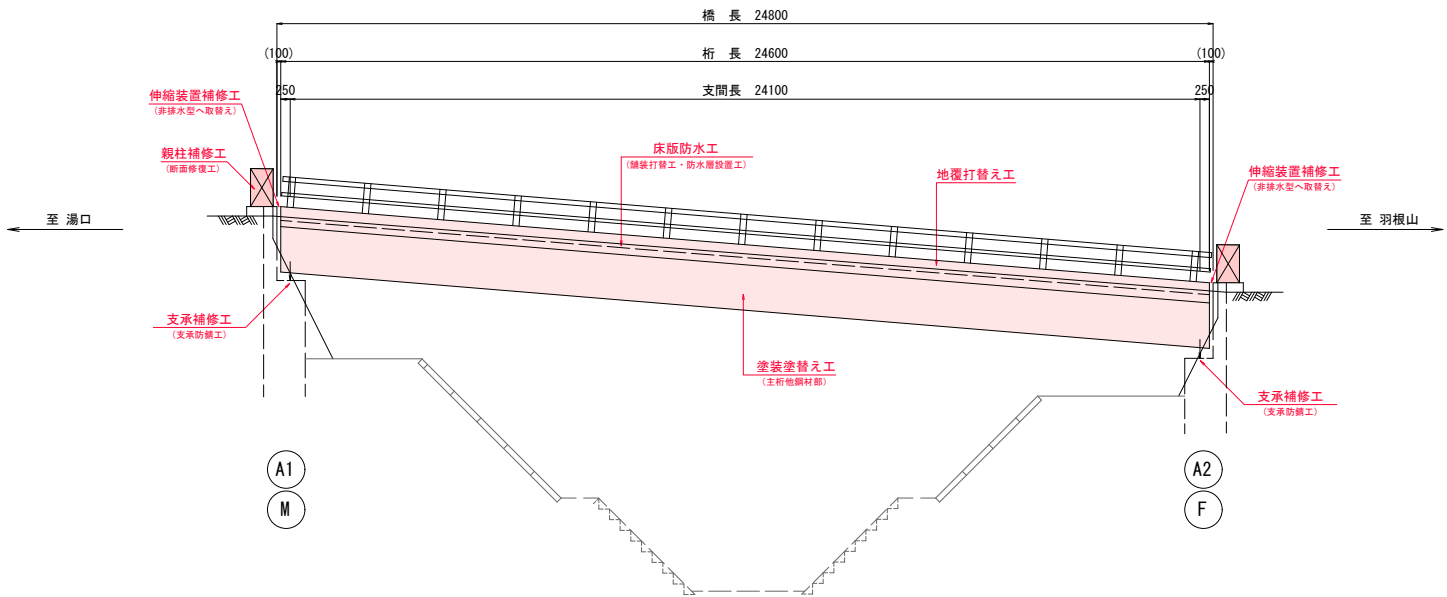
弘前市建設部建設政策課



補修計画一般図

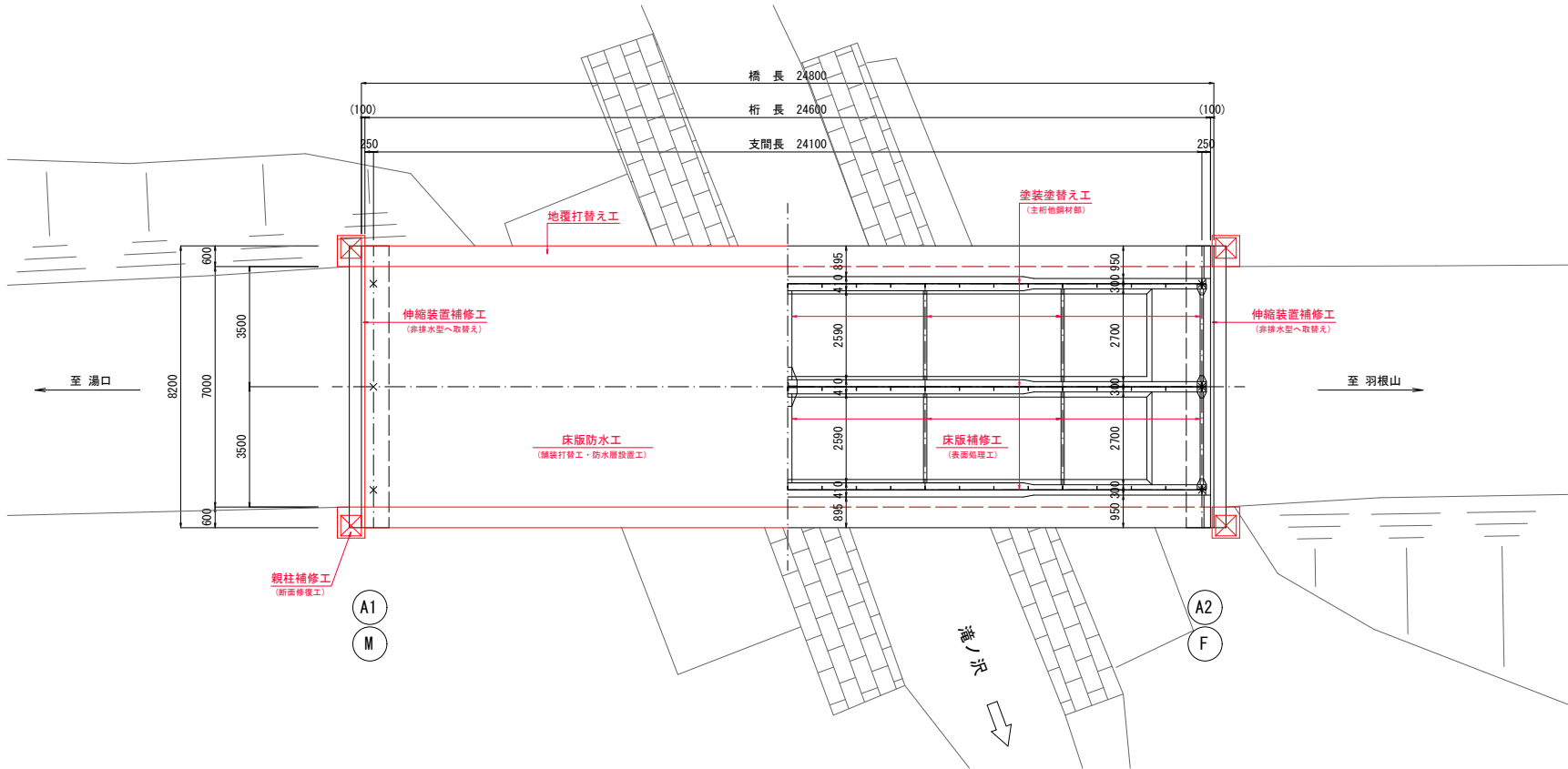
側 面 図

S=1/100



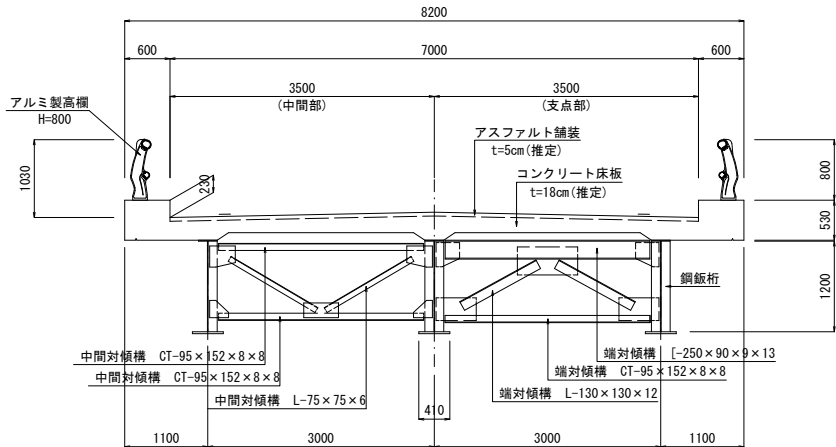
平 面 図

S=1/100



現況断面図

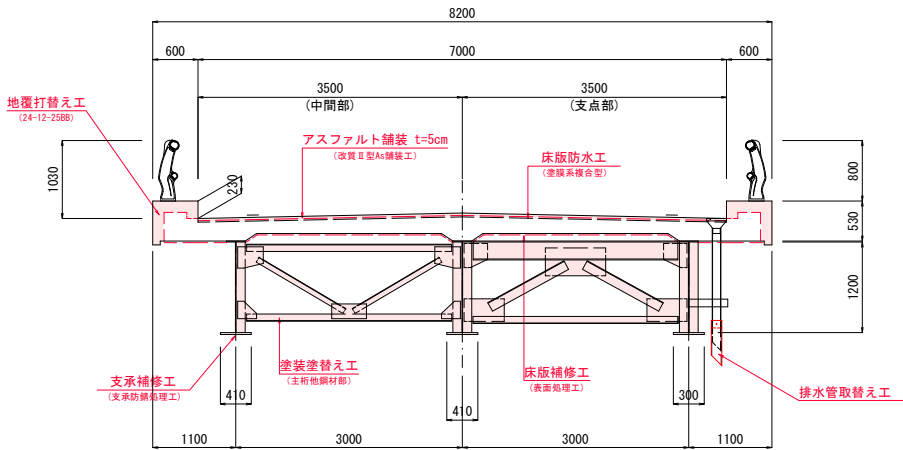
S=1/50



滝ノ沢

補修計画断面図

S=1/50



滝ノ沢

橋 梁 補 修 計 画 一 覧 表			
部 材 名	補 修 対 策	対 策 工 法	備 考
上 部 工	床 版	複合型防水工 改質Ⅱ型As	
	伸縮装置	既設取替え工	非排水型 耐グレーダー型
	主 桁	素地調整 1種 (プラスト) Ro-I 塗装系	
	横 桁	素地調整 1種 (プラスト) Ro-I 塗装系	
	地 覆	打替え工	鉄筋コンクリート
	排水装置	排水管取替え工	塩ビ管VP125A
下 部 工	親 柱	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	支 承	支承補修工	支承防錆工
橋 台	橋 台	表面保護工	ケイ酸ナトリウム系

橋 梁 諸 元	
路 線 名	湯口羽根山線
架橋条件	滝ノ沢 (管理者: 弘前市)
竣工年月	昭和57年1月 (1982) --- 約36年経過
橋 長	BL=24.800m
桁 長	GL=24.600m
有効幅員	7.000m
全 幅	車道7.00m+地覆幅0.60m×2=8.20m
斜 角	θ=90°
橋 格	TL-14 t (二等橋)
上部工形式	単純鋼板桁橋
床 版	鉄筋コンクリート床版 t=18cm (推定)
橋面舗装	アスファルト舗装 t=5cm (推定)
防 護 柵	アルミ製 H=0.800m
伸縮装置	鋼製フィンガージョイント (排水型)
支 承	支承板支承
下部工形式	逆T式橋台
塩害対策	対策地域外

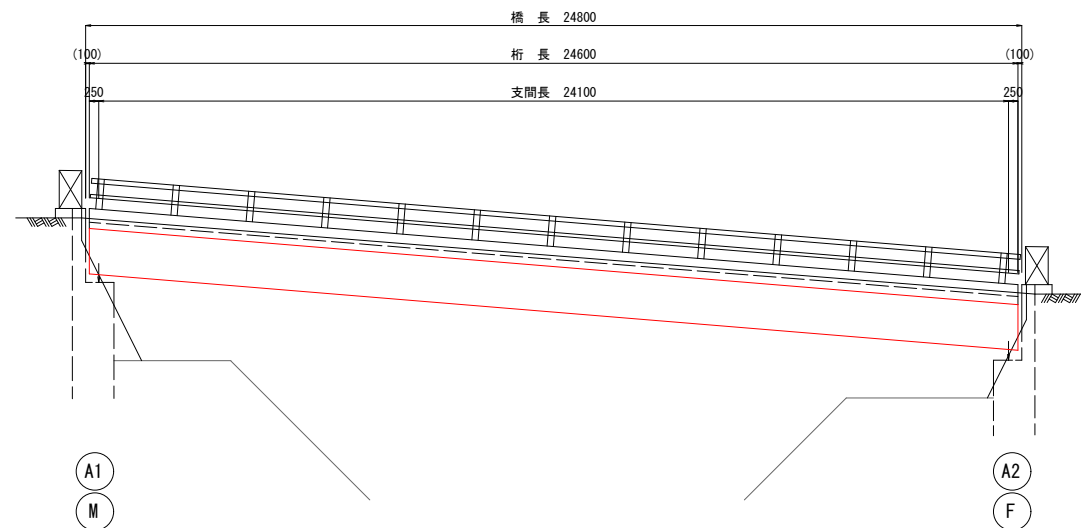
年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	上部工塗装塗替え詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 2

弘前市建設部建設政策課

上部工塗装塗替え詳細図

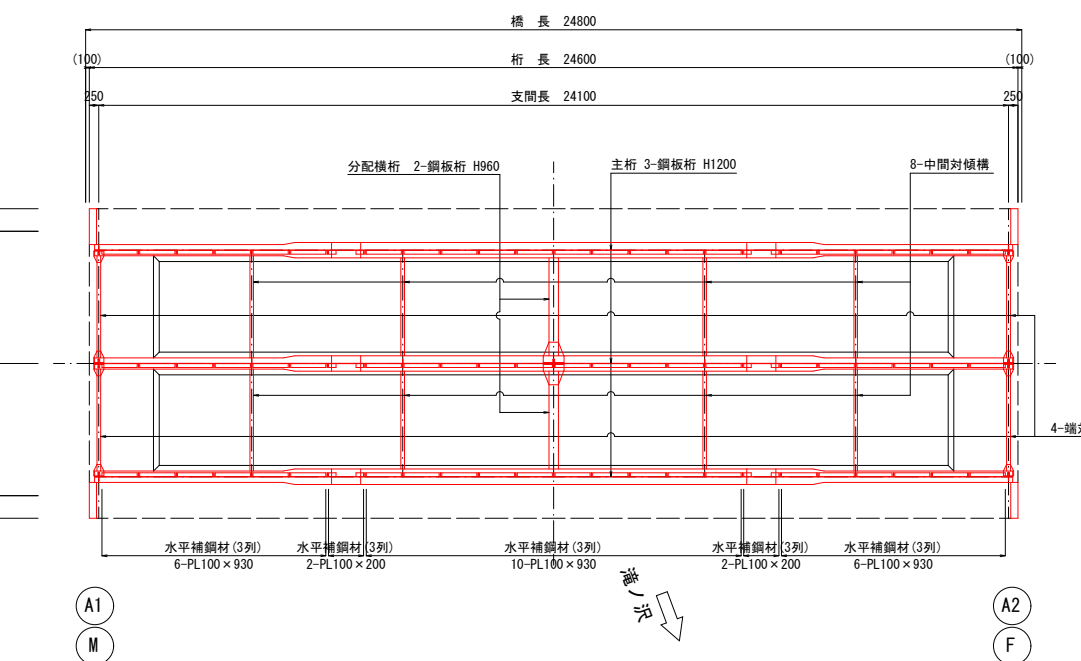
側 面 図

S=1/100



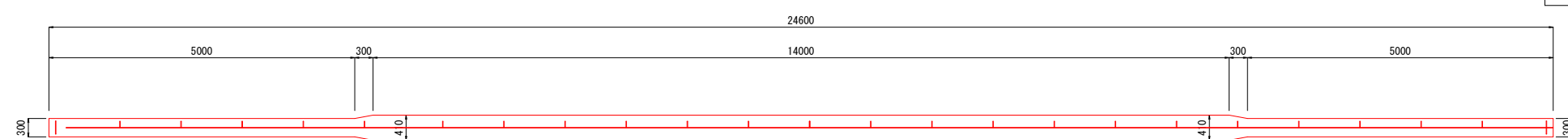
平 面 図

S=1/100



主桁フランジ平面図

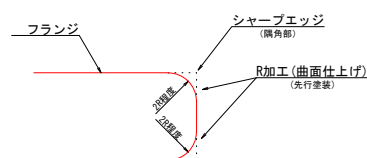
S=1/50



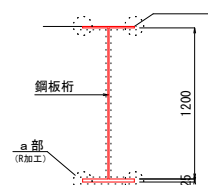
桁 断 面 図

S=1/30

a 部 R加工詳細図

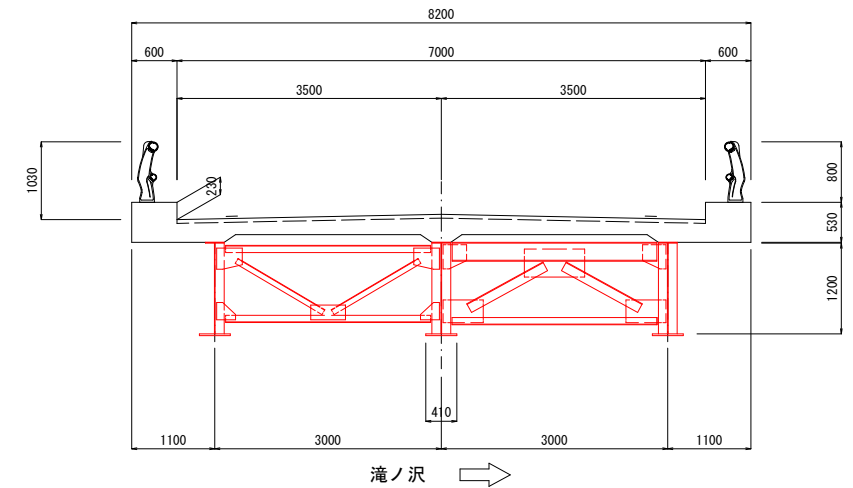


主桁断面図



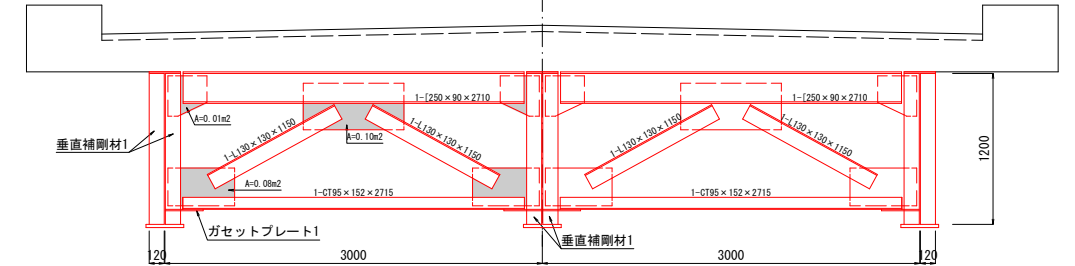
補修計画断面図

S=1/50



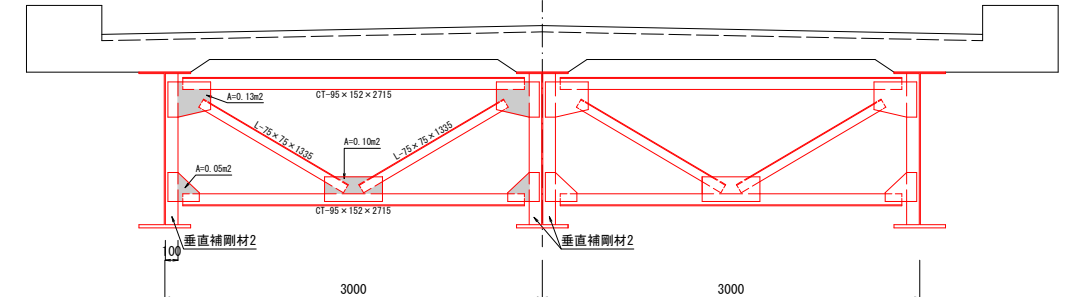
端対傾構正面図

S=1/30



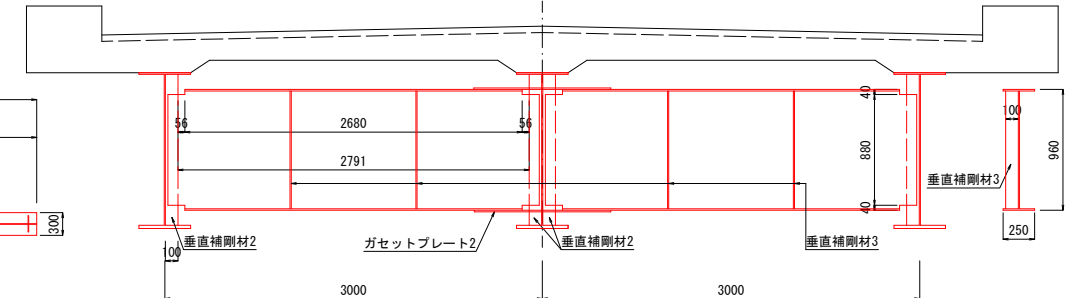
対傾構正面図

S=1/30



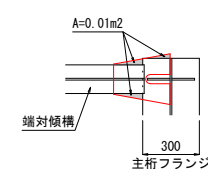
分配横桁正面図

S=1/30



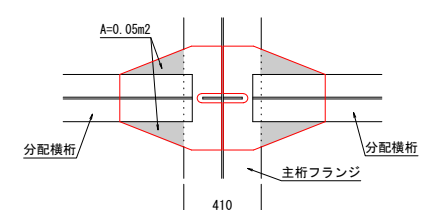
ガセットプレート1

S=1/20



ガセットプレート2

S=1/20



※表記寸法は、現地検測の上決定すること。

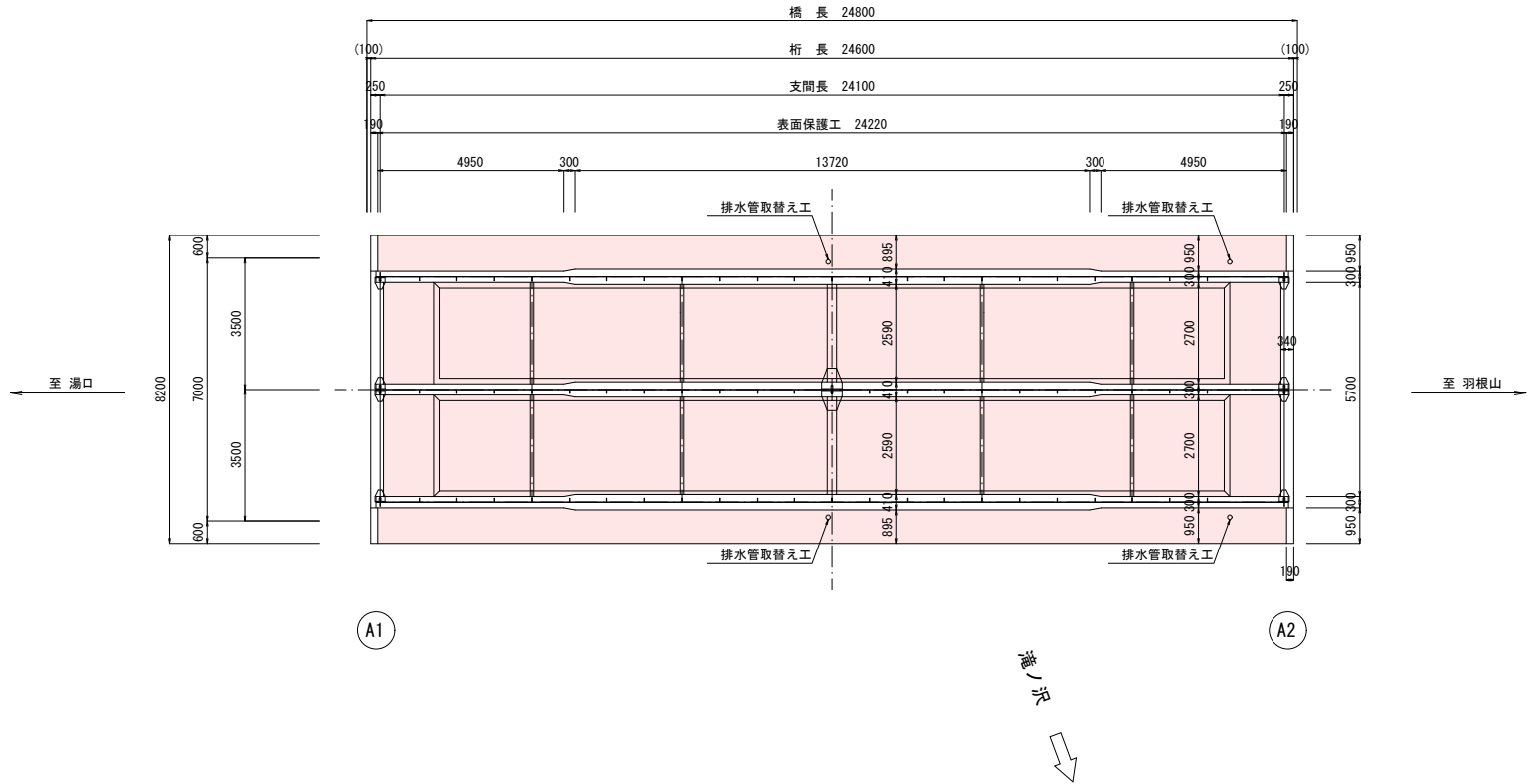
年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	床版補修工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 3

弘前市建設部建設政策課

床版補修工詳細図

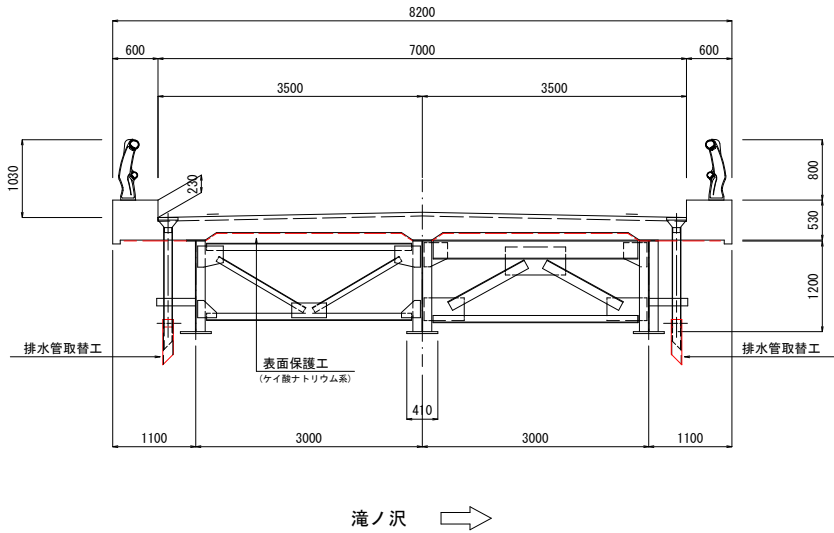
平面図

S=1/100



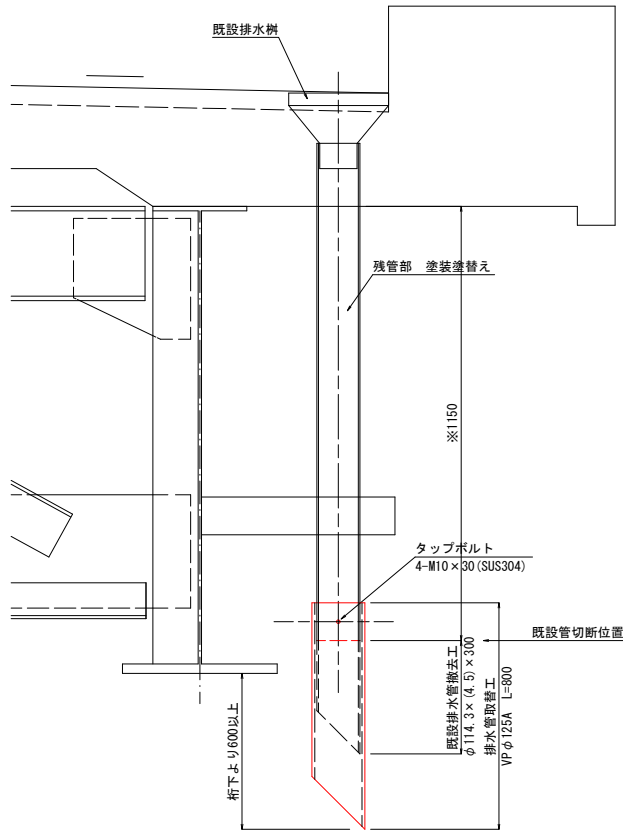
断面図

S=1/50



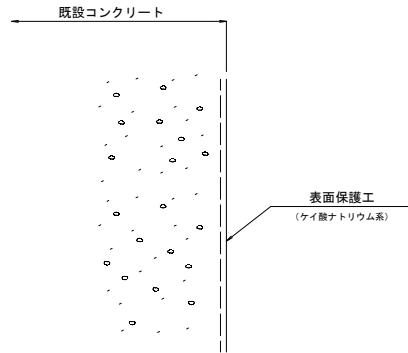
排水装置補修図

S=1/10



※既設管切断位置は鋼管の健全を確認し決定すること。

表面保護工詳細図



表面保護工（留意事項）

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。
3. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後（24時間）は降雨にさらされないよう養生を行う。
4. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

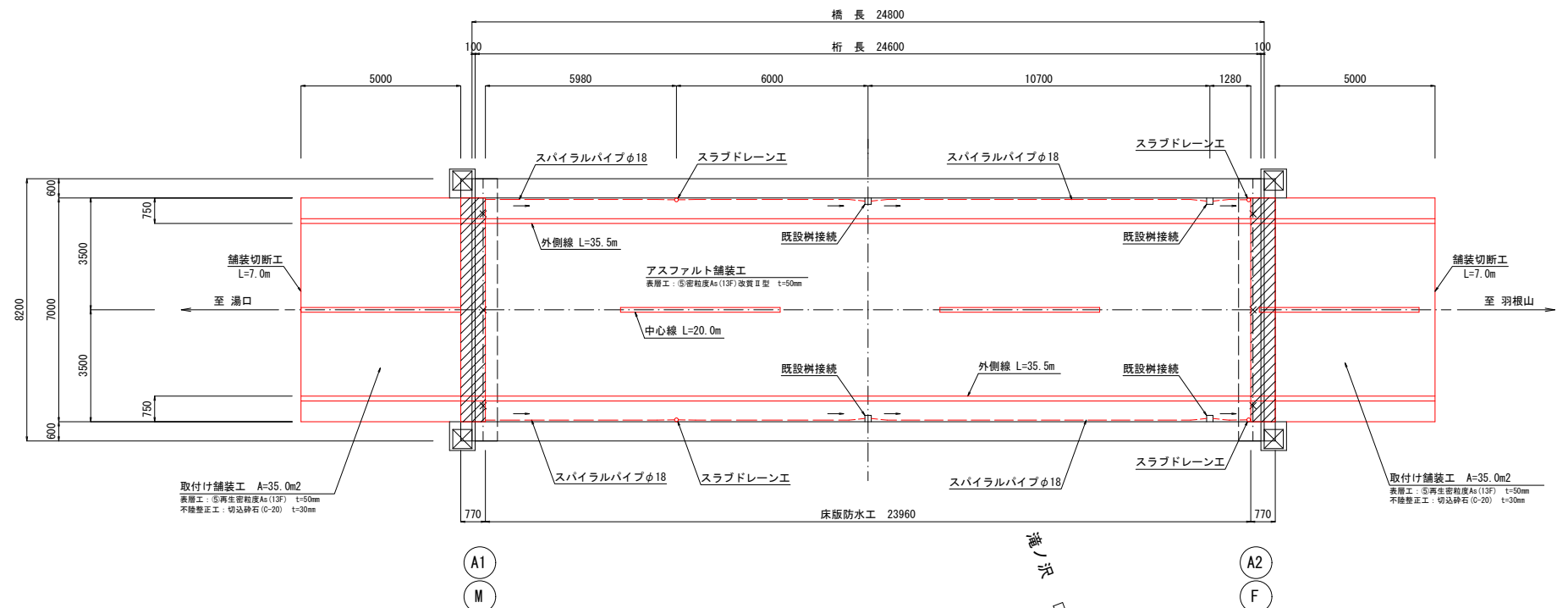
年 度	平成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	床版防水工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 4

弘前市建設部建設政策課



床版防水工詳細図

平面图

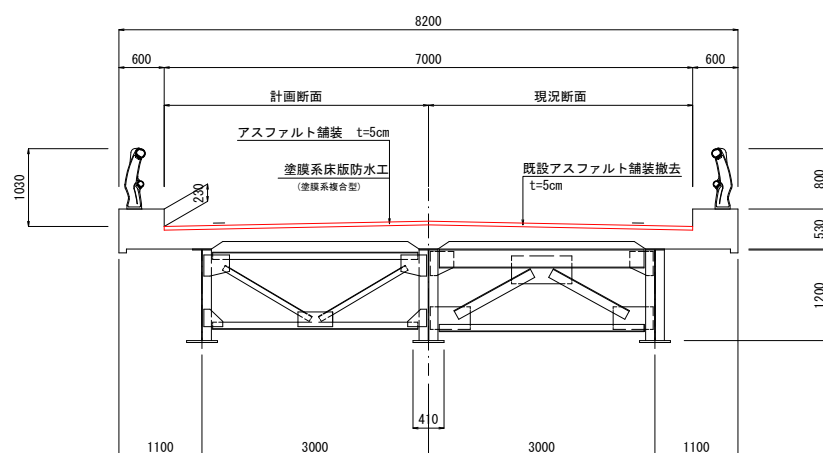
$$S=1/100$$


スラブドレーン詳細図

$$S=1/20$$

断面図

S=1/50

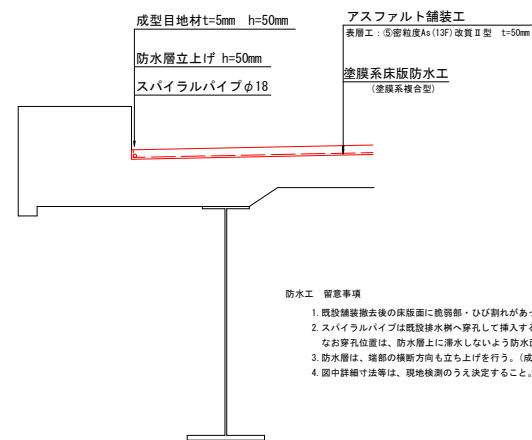


滝ノ沢 ➡

※舗装復旧工の路面高さ等について

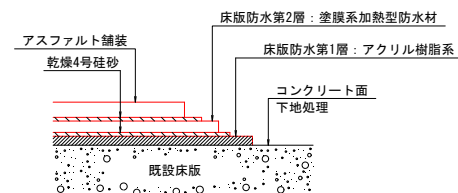
- ※ 築路後復旧上の路面高さと等について
1. 横断勾配は現況実測にて設定するものとし、地盤立ち上がり230mmを確保する。
 2. 土工部取付けは現況実測により路面高さ・横断勾配を設定するものとし、前後の路面にわたって掘れがある場合は、段差(衝撃)が生じないようにすり付けを行うこと。
 3. 現況舗装層が計画舗装層と異なる場合は、免注者と協議すり付けを行うこと。
 4. 舗装の復旧後は既設路面排水の集水性を考慮し周囲に幅50mm程度ですり付けを行う。

防水工端部詳細図

$$S=1/20$$


床版防水層詳細図

(塗膜系複合型)

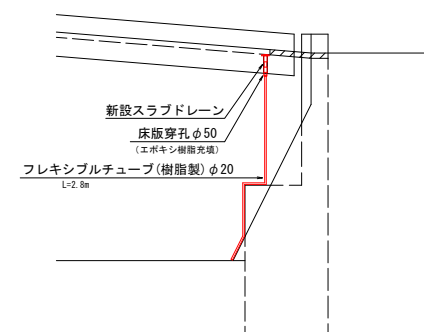


床版穿孔拡大図

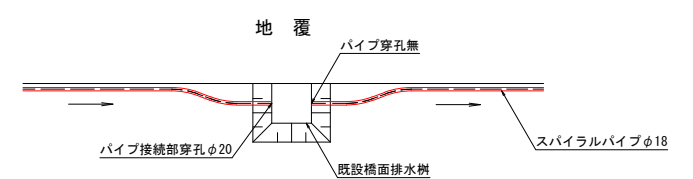
$$S=1/5$$


スラブドレーン詳細図

A2橋台 S=1/50

$$S=1/50$$


既設柵接続部詳細図

$$S=1/20$$


年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	地覆打替え工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 5

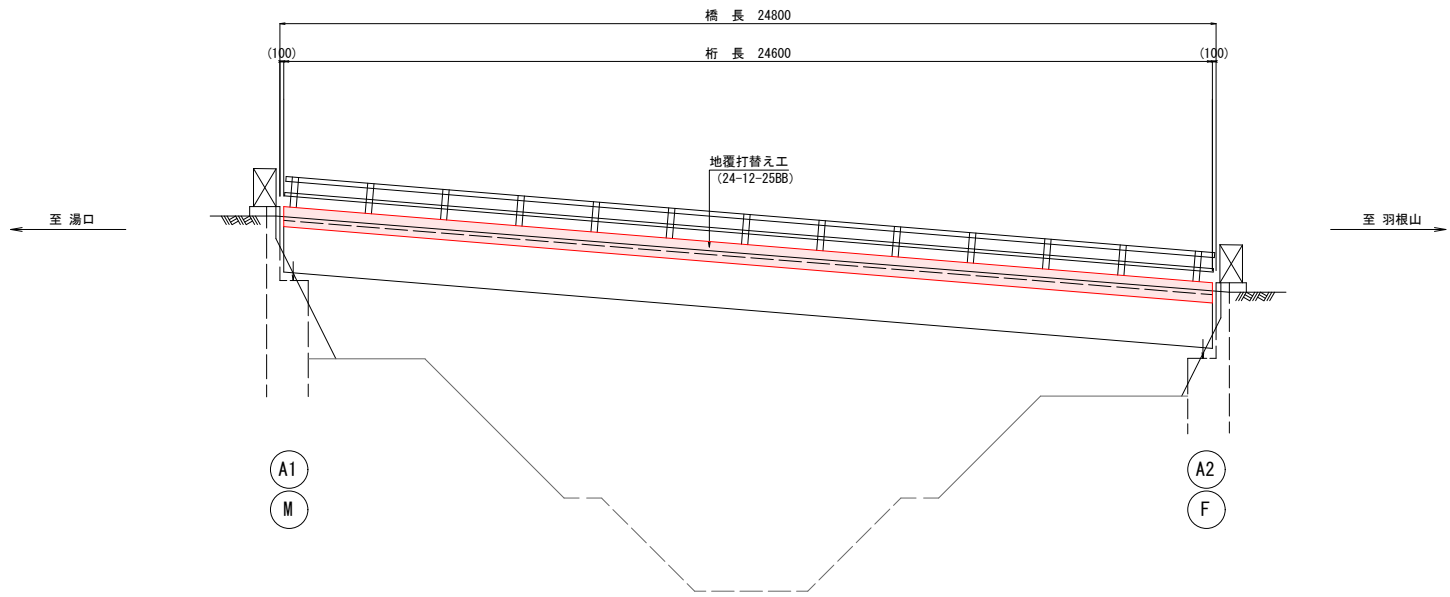
弘前市建設部建設政策課



地覆打替え工詳細図

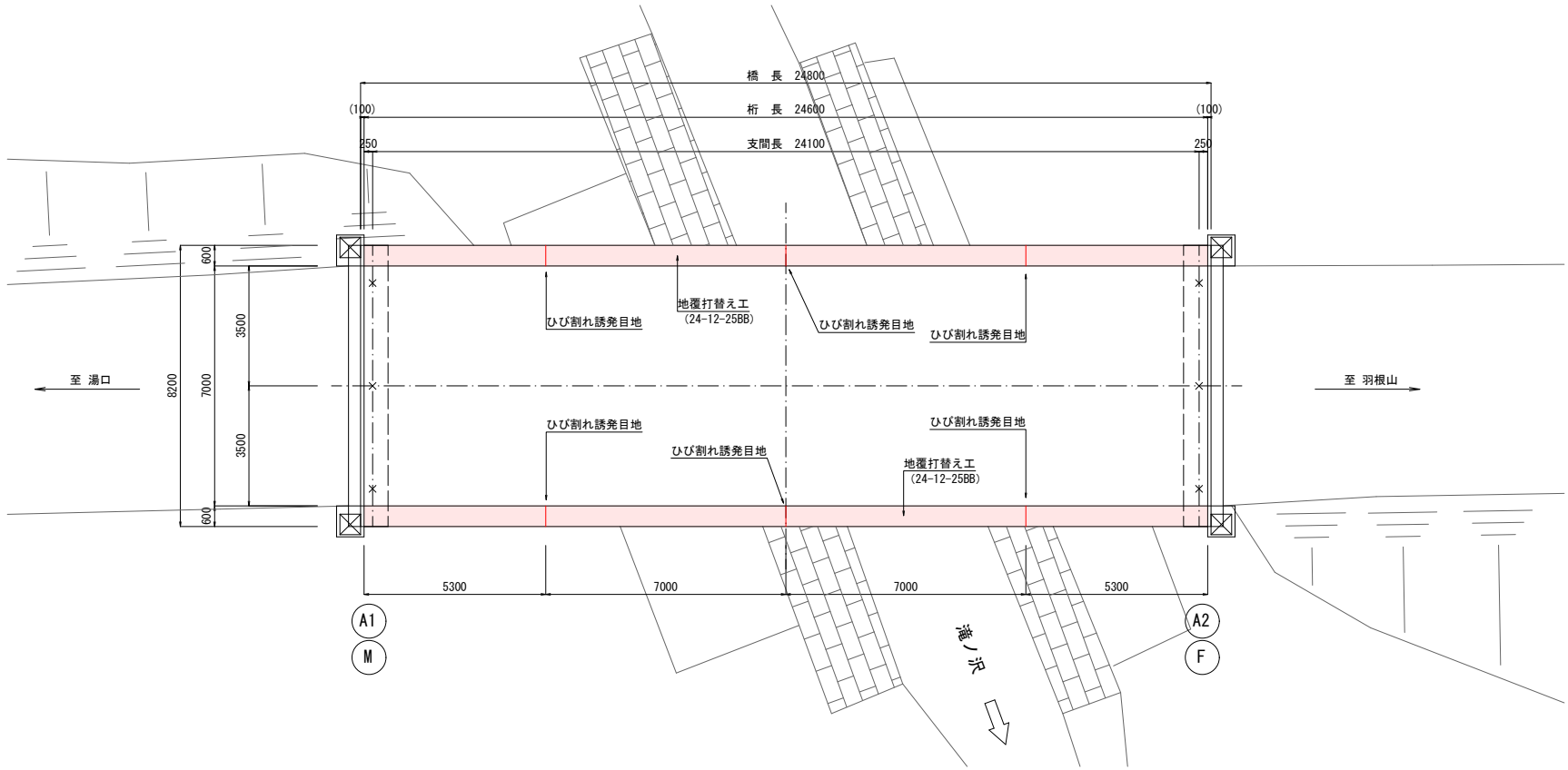
側 面 図

S=1/100



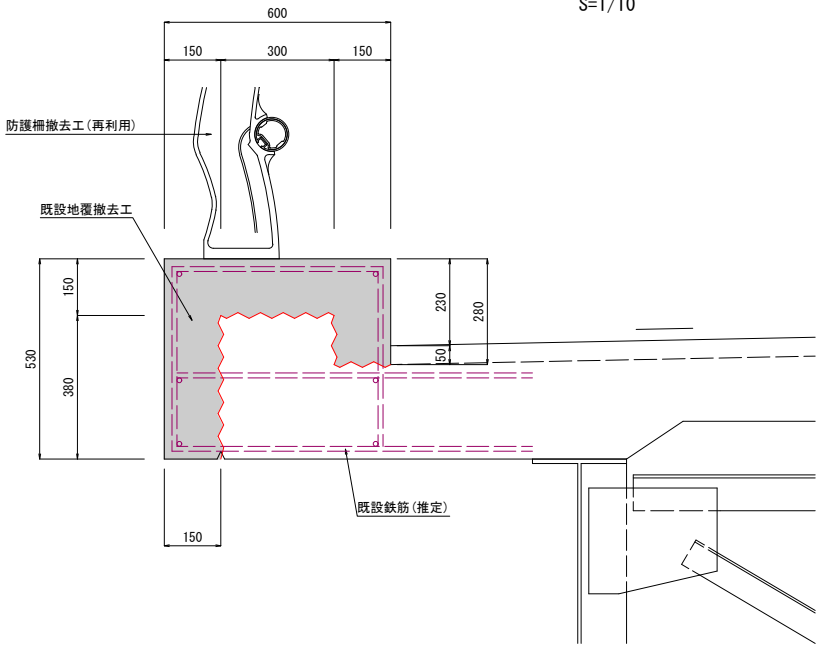
平 面 図

S=1/100



撤去断面図

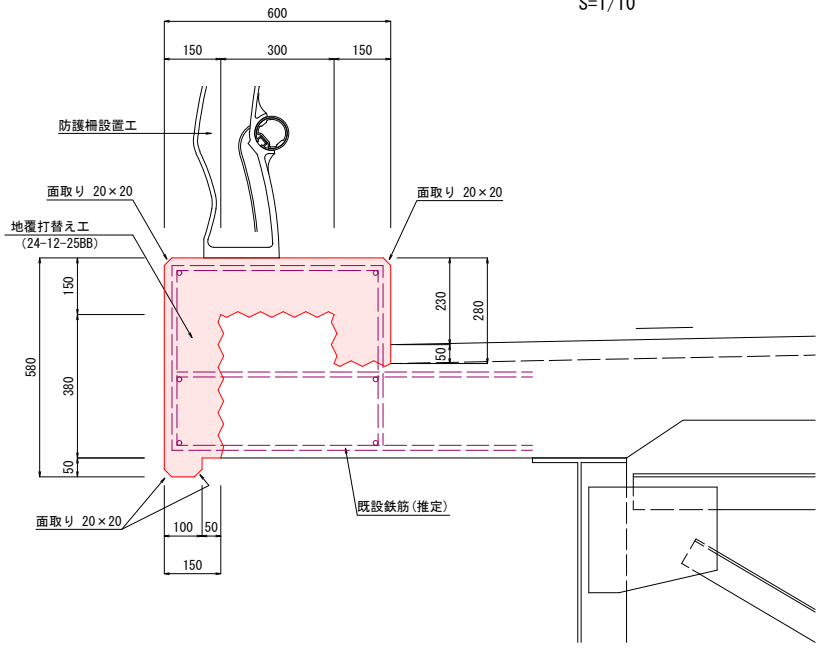
S=1/10



- 既設地覆撤去〔留意事項〕
1. 既設鉄筋は修復後も使用するため、損傷しないようコンクリートを撤去すること。
 2. 鉄筋に錆が確認された場合は、鉄筋防錆処理を行うこと。
 3. 既設防護柵アンカーは再利用するため、地覆コンクリート取壊し時は損傷しないよう注意すること。

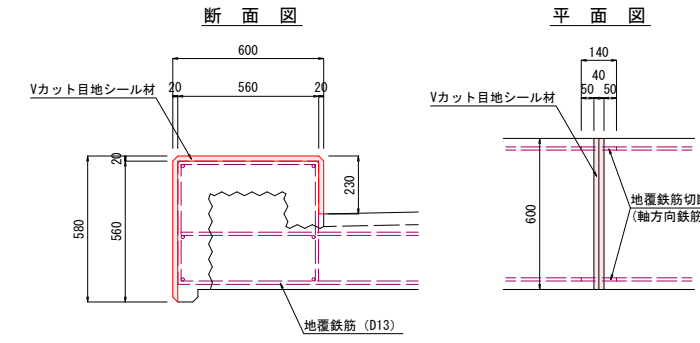
打替え断面図

S=1/10

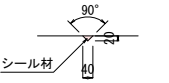


ひび割れ誘発目地詳細図

S=1/15



目地部詳細図

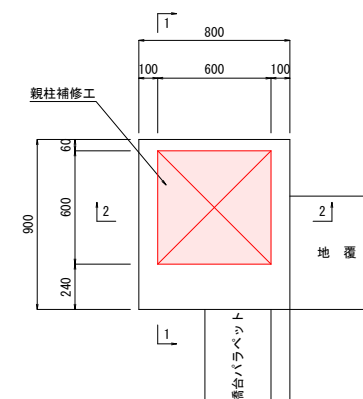


弘前市建設部建設政策課

側 面 図

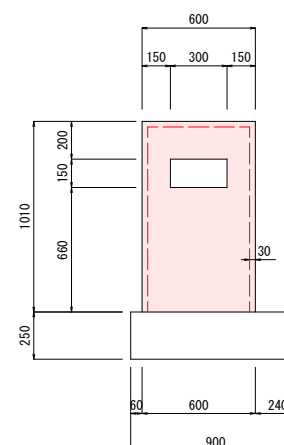
平面図

S=1/20



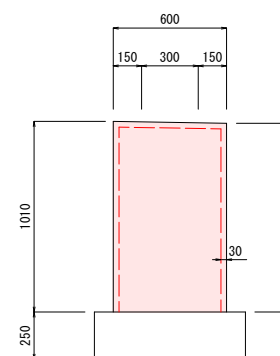
1-1 断面

$S=1/20$

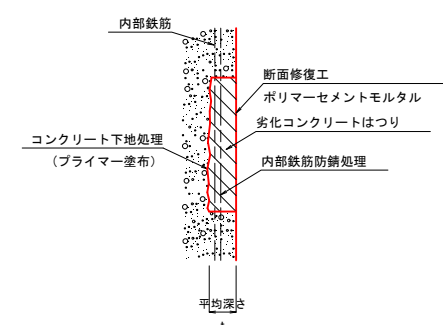


2-2 断 面

S=1/20



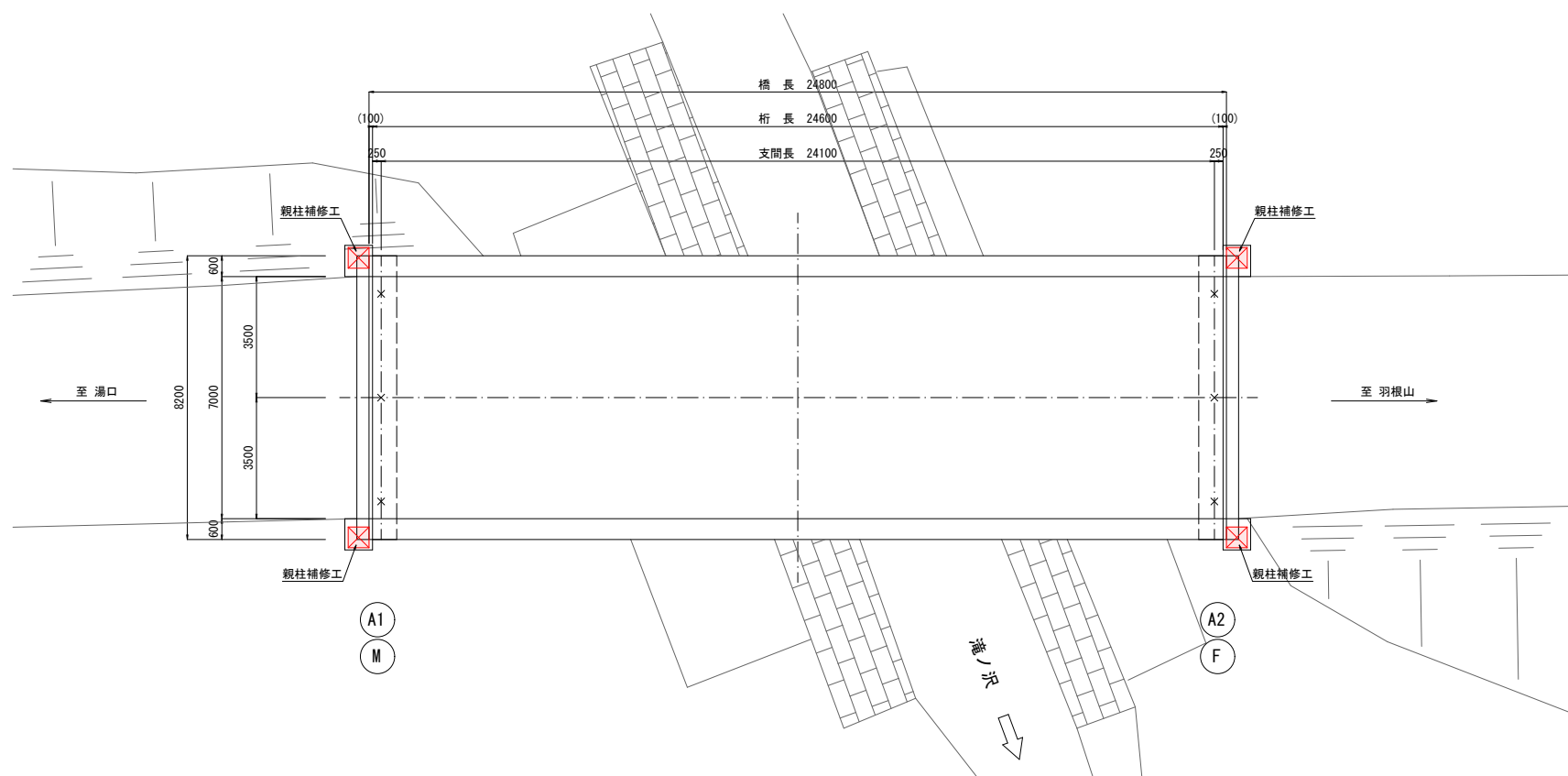
断面修復工詳細図



〔留意事項〕

1. 國中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 脆弱部を撤去後、露出した鉄筋は錆を除去し、防錆措置を行うこと。
3. 表記以外の損傷箇所が確認された場合は、補修範囲について協議を行う。

平面图

$$S=1/100$$


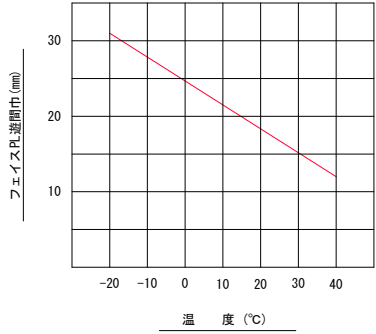
年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	伸縮装置補修図(参考図)
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 7

弘前市建設部建設政策課

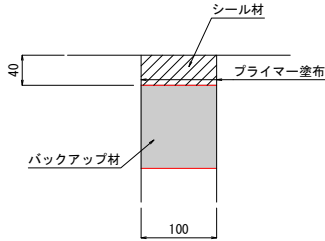
7/10

伸縮装置補修図(参考図)

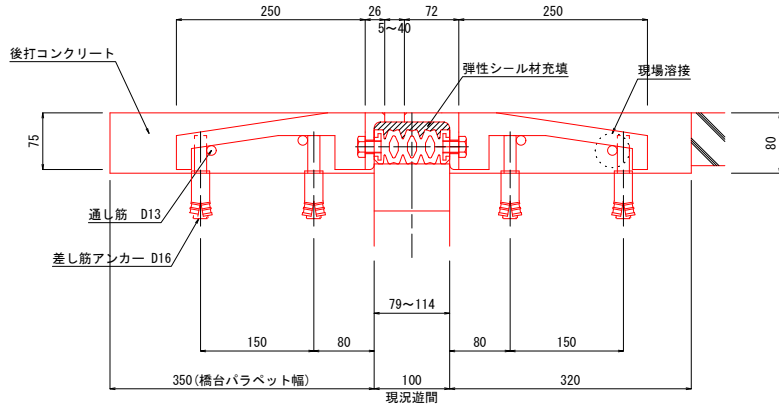
予備圧縮量



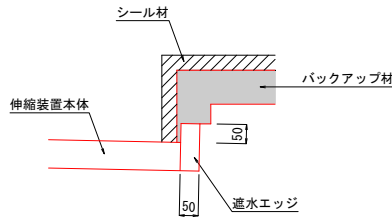
シーリング材充填図



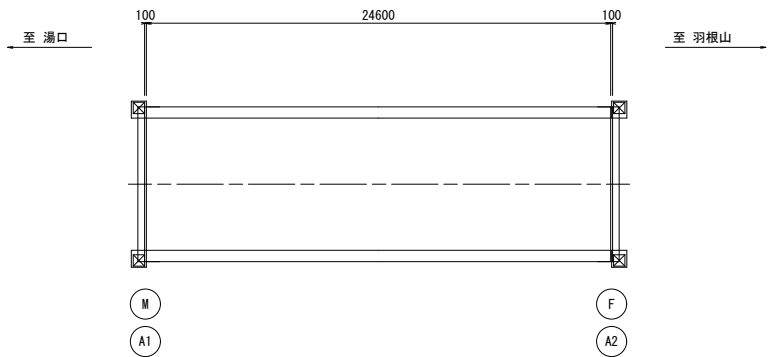
A1・A2 伸縮量35mmタイプ



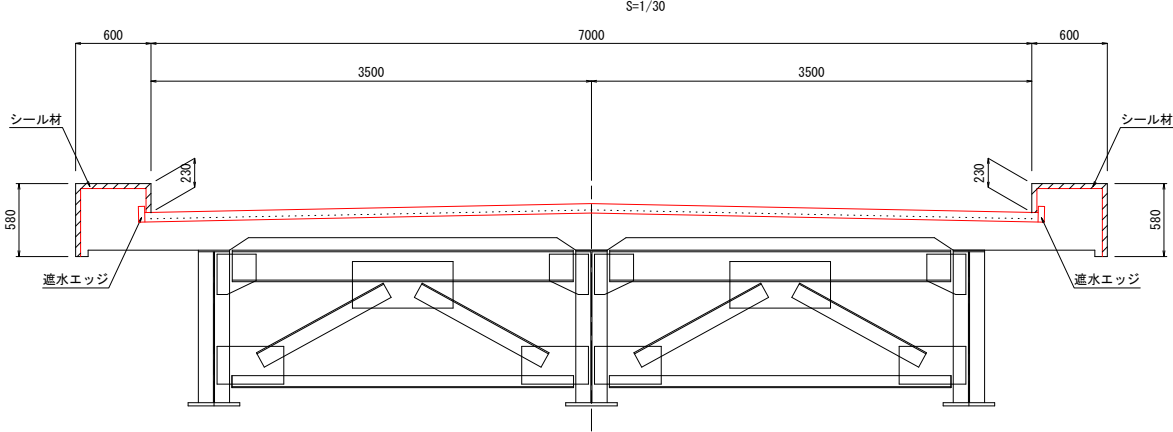
端部詳細図



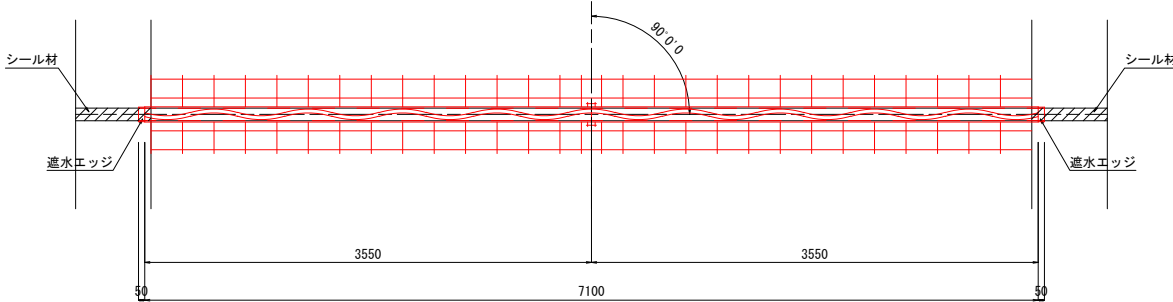
配置図



断面図



平面図



鉄筋表

寸 法	A1数量	A2数量	合計数量	合計重量	備 考
D16用	112 本	112 本	224 本		差し筋アンカー
D13x7100	4 本	4 本	8 本	57 kg	通し筋

注1) カッター幅及びはつり深さは、現場確認の上、決定のこと。

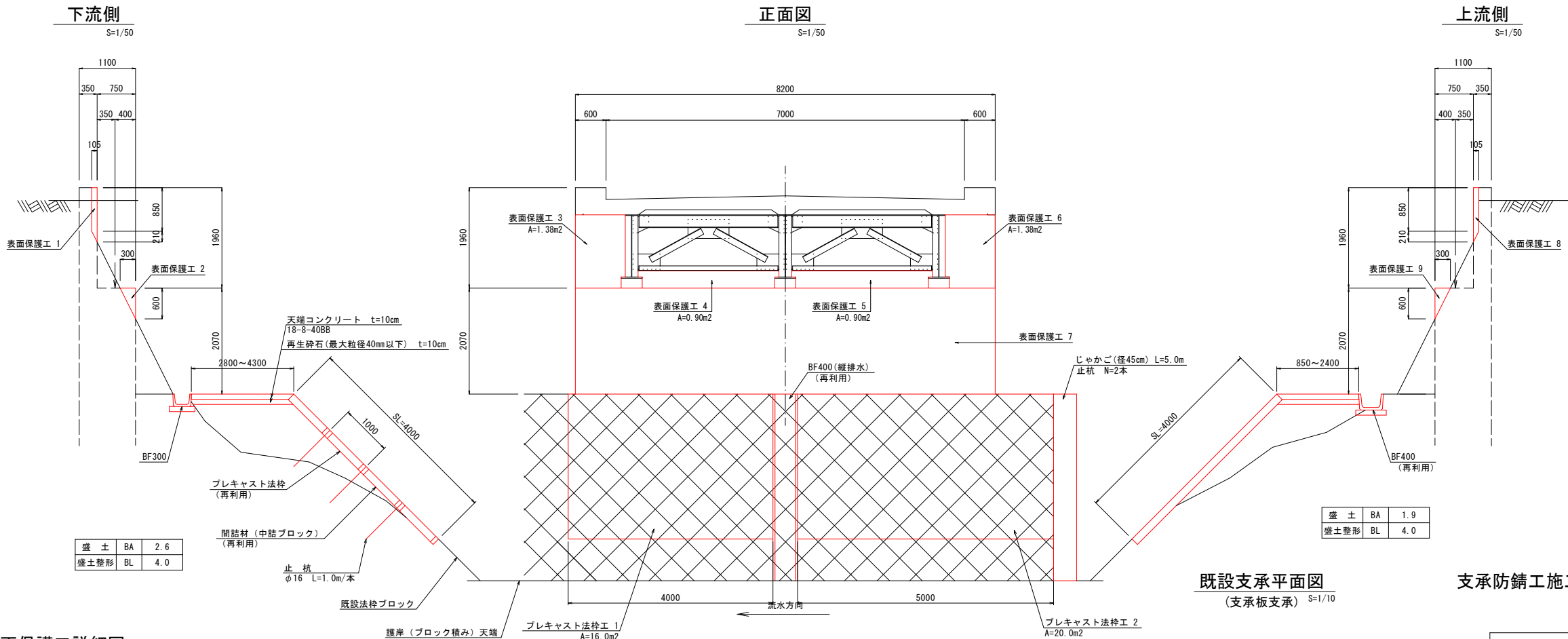
注2) 伸縮装置長さは、現地測量後決定のこと。

注3) 差筋アンカーは、ガイド板ピッチに沿って配置のこと。

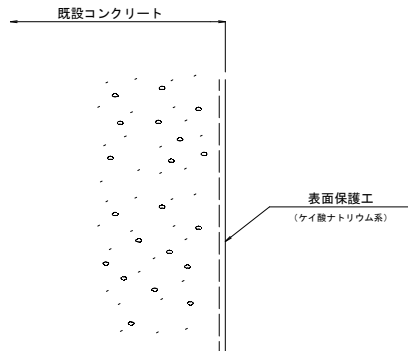
年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	下部工補修図 (A1橋台)
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 8

弘 前 市 建 設 部 建 設 政 策 課

下部工補修図 (A1橋台)



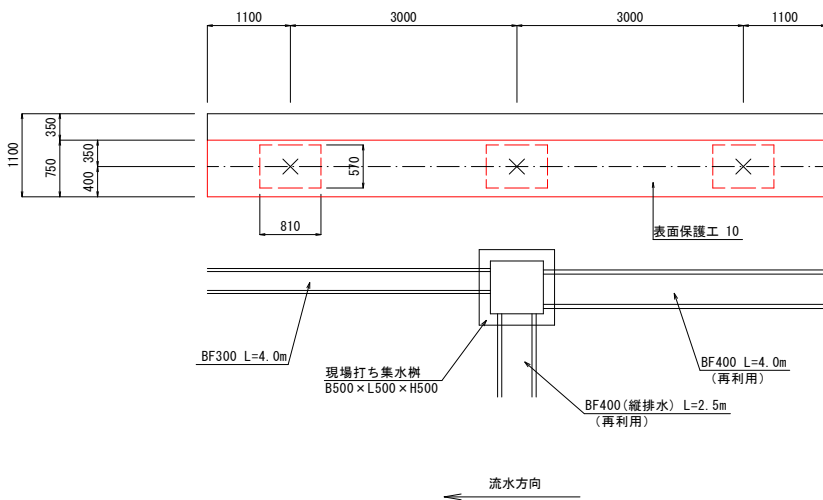
表面保護工詳細図



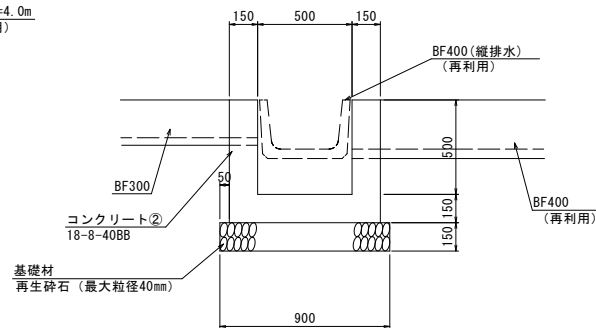
表面保護工 (留意事項)

- 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
- 脆弱部等は断面修復工を行う。
- 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて塗布させる。
- 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(2時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。
- 箇中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

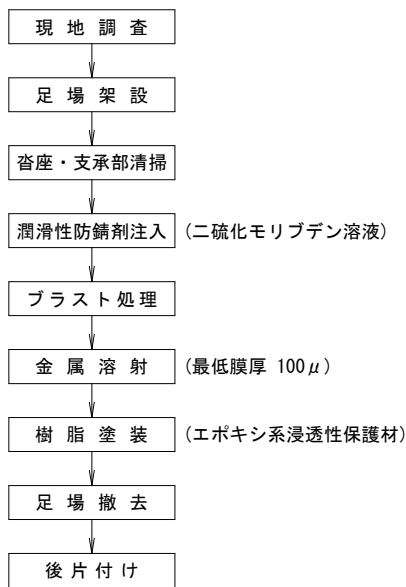
平面図



集水桝詳細図



支承防錆工施工フロー



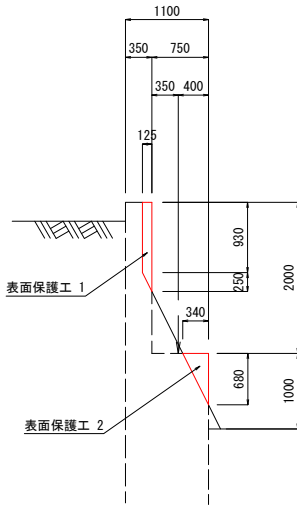
年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	下部工補修図 (A2橋台)
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 9

弘 前 市 建 設 部 建 設 政 策 課

下部工補修図 (A2橋台)

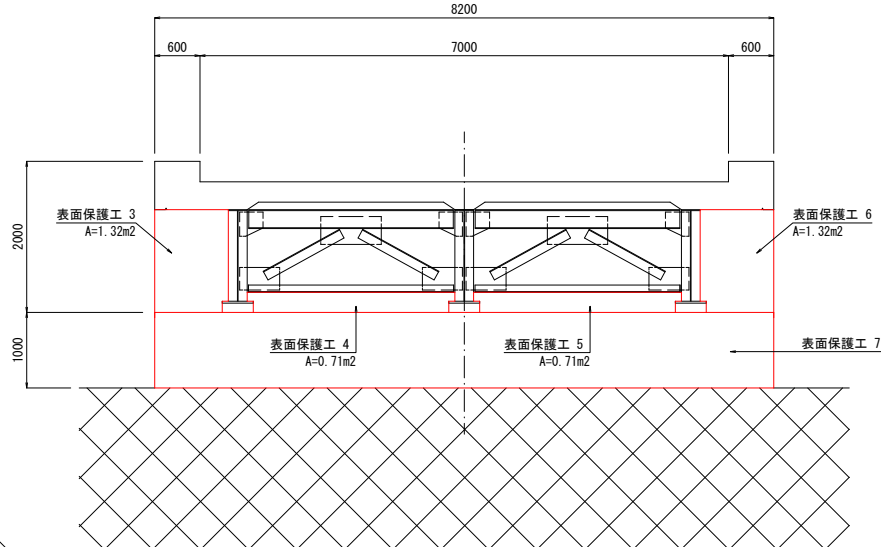
上流側

S=1/50



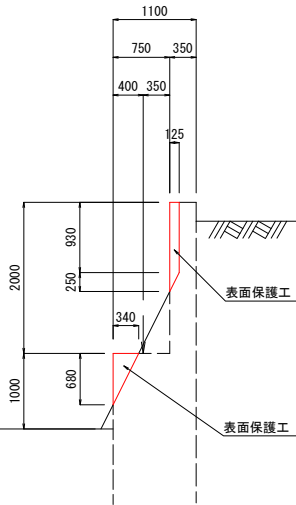
正面図

S=1/50



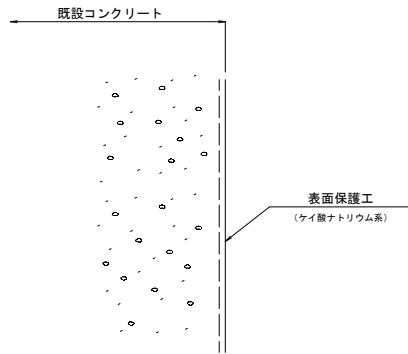
下流側

S=1/50



流水方向

表面保護工詳細図

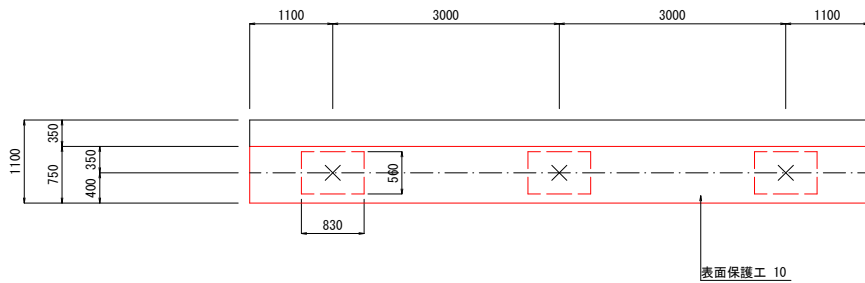


表面保護工〔留意事項〕

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 脆弱部等は断面修復工を行う。
3. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて塗布させる。
4. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(2時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。
5. 箇中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

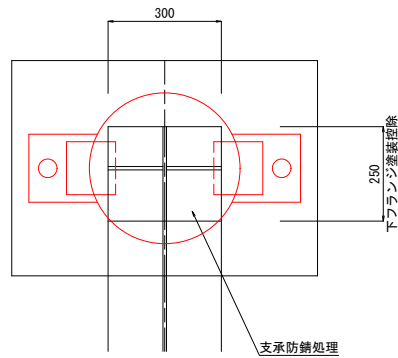
平面図

S=1/50

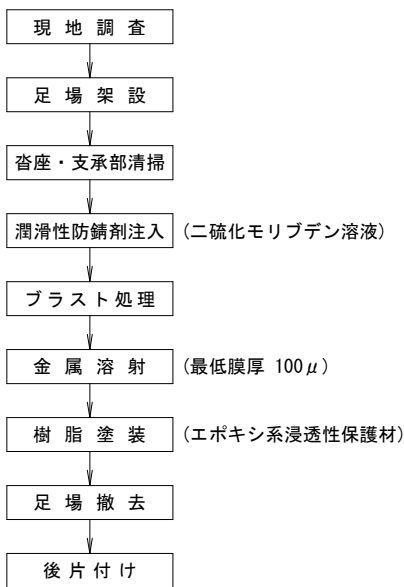


既設支承平面図

(支承板支承) S=1/10



支承防錆工施工フロー



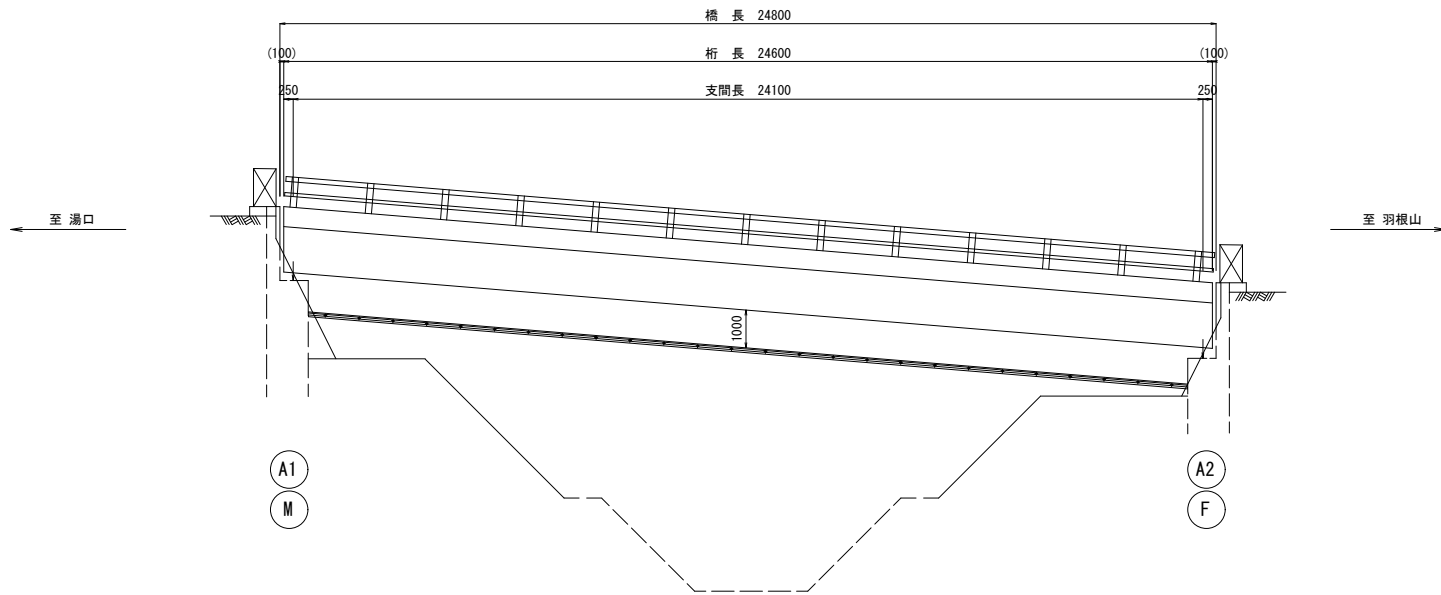
年 度	平 成 30 年 度
工 事 名	平成30年度 竹ノ沢橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 湯口羽根山線
施工箇所	弘前市大字 相 馬 地内
図面名称	足場工詳細図(参考図)
縮 尺	図 示
図面番号	10 葉 10

弘前市建設部建設政策課

足場工詳細図(参考図)

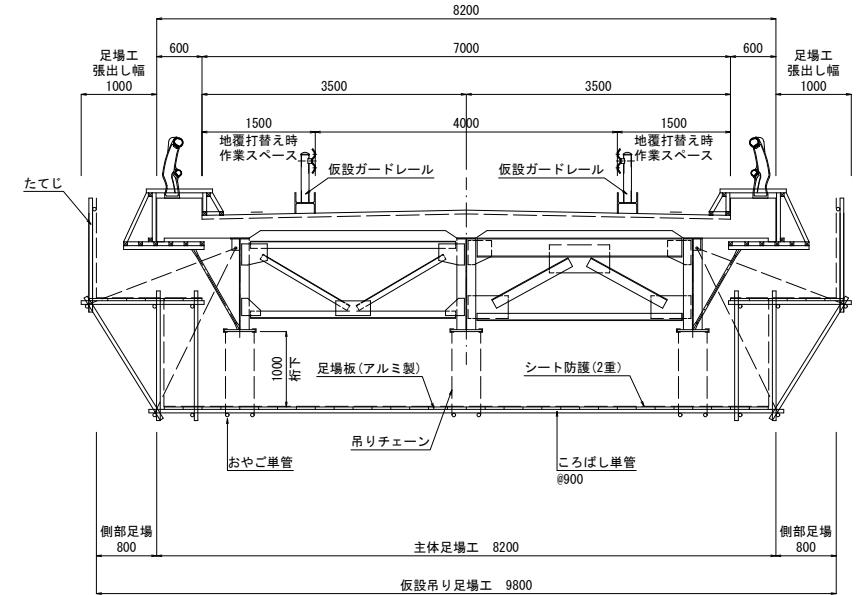
側 面 図

S=1/100



断 面 図

S=1/50



滝ノ沢 ➡

平 面 図

S=1/100

